

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債、純資産の状況

当四半期末の資産合計は22,730百万円となりました。また、負債合計は7,933百万円、新株予約権と少数株主持分を含む純資産合計は14,796百万円となりました。

前連結会計年度下期首に株式会社JIMOSとの株式交換による経営統合を実施し、同社を連結子会社としたことから、前年同期末に比し、総資産が大幅に増加しております。

	平成19年3月期 第1四半期 (平成18年6月30日)	平成20年3月期 第1四半期 (平成19年6月30日)
自己資本比率 (%)	66.5	61.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	166.5	64.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は当四半期末株価終値に発行済株式総数を乗じて算出しております。

2 キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

3 平成19年3月期第1四半期及び平成20年3月期第1四半期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

## (2) 借入金・社債 (平成19年6月30日現在)

## ① 株式会社サイバードホールディングス

(単位：千円・単位未満切捨)

借入先	借入金額
三菱東京UFJ銀行 (外貨) (注)	1,840,271
三井住友銀行 (外貨) (注)	616,300
合計	2,456,571

(注) 平成19年6月30日現在の仲値レート@123.26円にて換算しております。

## ② Airborne Entertainment Inc.

(単位：千円・単位未満切捨)

借入先	借入金額
Wellington Financial	202,639
合計	202,639

(注) 平成19年3月31日現在の仲値レート@117.93円にて換算しております。

(単位：千円・単位未満切捨)

社債	社債残高
2006年度新株予約権付社債 (注)	339,538
2007年度新株予約権付社債 (注)	477,181
合計	816,719

(注) 平成19年3月31日現在の仲値レート@117.93円にて換算しております。

## ③ 株式会社エスクリュー

(単位：千円・単位未満切捨)

借入先	借入金額
東京都民銀行	31,631
三井住友銀行	94,436
三菱東京UFJ銀行	58,345
西武信用金庫	1,104
合計	185,516

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

当四半期末の現金及び現金同等物は5,013百万円となり、対前年同期末比で3,425百万円増加（215.8%増）となり、前連結会計年度末比では、150百万円減少（2.9%減）となりました。当四半期における各キャッシュ・フローの状況及び要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期は、営業利益338百万円の計上に加え、減価償却費及びのれん定額償却額228百万円の計上があった一方、仕入債務の減少を主とする運転資本増加や法人税等支払の影響等により、営業活動によるキャッシュ・フローは322百万円の減少（前年同期は216百万円の減少）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期は、ソフトウェアの取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは192百万円の減少（前年同期は158百万円の減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期は、海外子会社の社債発行による収入を主として、財務活動によるキャッシュ・フローは354百万円の増加（前年同期は265百万円の増加）となりました。

## 3. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

## (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。